

当社の資金調達状況について

添付3

- 震災以降、浜岡原子力発電所の全号機停止に伴う燃料費の大幅な増加などにより、多額の資金調達が必要な中、厳しい収支状況などを反映し、国債の流通利回りに対する上乗せ利率（スプレッド）が震災前に比べて大幅に上昇しました。

(震災直前) H22.10 第497回債 200億円 (期間10年) 0.986% (国債+0.09%)
 (震災後) H24.9 第498回債 200億円 (期間5年) 0.566% (国債+0.35%)
 H25.6 第499回債 200億円 (期間10年) 1.194% (国債+0.38%)

(震災前0.1%程度
⇒ 震災後0.4%程度)

- また、震災以降しばらくの間は、電気事業の先行き不透明感などから、社債の発行が事実上困難になった期間もあったことから、金融機関からの借入を中心に資金調達を行ってまいりました。借入金の利率についても、社債の流通利回りをもとに金融機関と交渉のうえ決まるため、震災以前と比べ、社債と同程度スプレッドが拡大しております。

◆資金調達額の推移(運転資金除く)

(単位：億円)

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度 2Q累計
社債	1,100	900	-	200	200
借入金	3,544	4,714	11,564	8,404	3,254
長期借入金	400	1,570	8,220	5,060	1,582
短期借入金 (運転資金除く)	3,144	3,144	3,344	3,344	1,672
資金調達額計 (運転資金除く)	4,644	5,614	11,564	8,604	3,454

◆当社債の流通市場におけるスプレッドの推移(残存10年程度)

